

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 12 月 17 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	佐藤 侑太郎

<p>1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)</p> <p>日本、長野県</p>
<p>2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)</p> <p>岳都・松本 山岳フォーラム</p>
<p>3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)</p> <p>平成 29 年 11 月 24 日～平成 29 年 11 月 27 日 (4 日間)</p>
<p>4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)</p> <p>霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院</p>
<p>5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)</p> <p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くて結構です。</p>
<p>目的</p> <p>本出張は、長野県まつもと市民・芸術館にて行われた山岳フォーラムにおける出展「フィールドワークの学校 2017」に参加することを目的とする。</p> <p>行程</p> <p>11月24日(金)：前日準備 11月25日(土)、26日(日)：山岳フォーラム 11月27日(月)：移動</p> <p>所感</p> <p>今回の山岳フォーラムでは、登山・アウトドアに関する出展がされており、一参加者としても楽しむことができた。登山中の怪我人の対応に関するレクチャーは、日常でも生かすことができそうな内容であり、興味深かった。</p> <p>京都大学の出展は、日本モンキーセンター(JMC)の展示、ポルトガルの野生ウマの紹介、チンパンジーの認知実験、ロープワークなどで構成された。東京でのキッズジャンボリーと比較して、来場者は大人の割合が高かった。私は主にチンパンジーの話やロープワークの説明をした。チンパンジーの写真をもち、ポスターのどこにいるかを探す個体識別ゲームは、私にとっては難しかったが、子どもたちに楽しんでもらえたようである(図1)。ロープワークは、私たちを含め子どもから大人まで幅広く興味をもって取り組んでいた。</p>



図1. 展示されたチンパンジーのパネル。個体識別ゲームは、子どもに楽しんでもらえた。

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

6. その他（特記事項など）

京都大学高等研究院 松沢哲郎特別教授、川上文人助教、野生動物研究センター 福島誠子 特定助教、新宅勇太 特定研究員、井上漱太氏、田中美帆氏、京都大学 井ノ上綾音氏、PWS 支援室 左海陽子氏、秋山未来氏のご協力に感謝申し上げます。